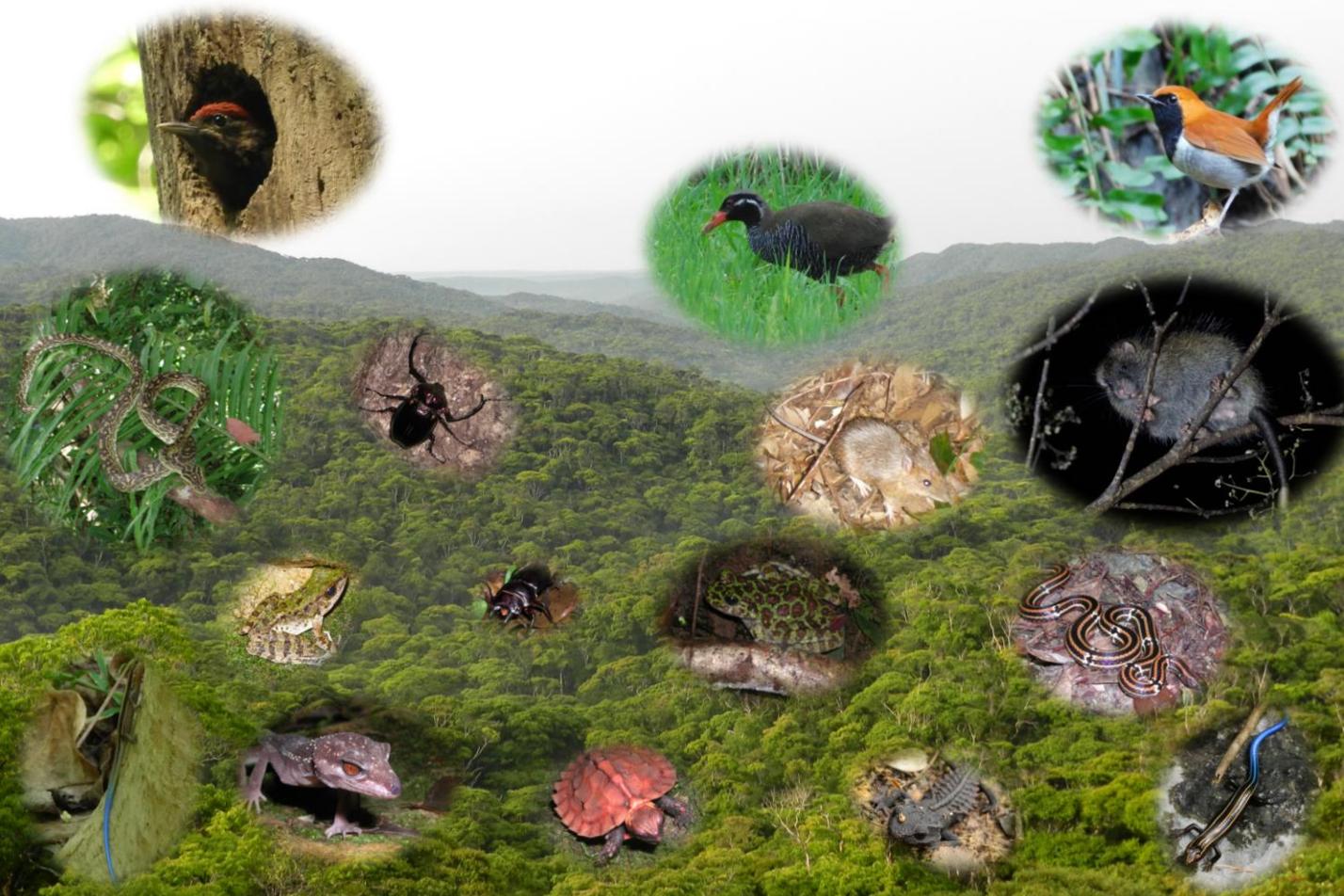


回復し始めた！

# 「沖縄島の固有鳥類の 現在と未来に向けて」

開催日時：2024年5月25日（土）16:20～17:50  
開催場所：琉球大学（千原キャンパス）共通教育棟  
<https://www.u-ryukyu.ac.jp/campus-map/>  
〒903-0213 沖縄県西原町千原1番地  
参加無料・事前申し込み不要

大会案内は  
こちらから



中琉球沖縄島の森に暮らす生きものたち：何種類わかるかな？  
答えはウラ面にあります

**四学会合同沖縄大会：**日本動物学会九州支部会（第76回）、九州沖縄植物学会（第73回）、日本生態学会九州地区会（第68回）、沖縄生物学会（第61回）公開シンポジウム

## タイトル：「沖縄島の固有鳥類の現在と未来に向けて」

内容：沖縄島には、沖縄県の県鳥であるノグチゲラ、日本で唯一の飛べない野鳥ヤンバルクイナ、そして、沖縄島だけで繁殖するホントウアカヒゲの3種の固有鳥類が生息しています。ホントウアカヒゲは、これまで奄美群島以北で繁殖するアカヒゲの亜種とされてきましたが、日本産鳥類目録の最新の改訂第8版では独立種とすることが決まっています。本シンポジウムでは、近年回復の傾向がみられるこれら3種の固有鳥類のなかでも、新しく独立種となったホントウアカヒゲと、1属1種のノグチゲラ属からアカゲラ属に分類変更されるノグチゲラに注目して、最新の研究成果をご紹介します。シンポジウムの総合討論では、これらの魅力的な沖縄島の固有鳥類が暮らす森を未来に遺すために、今後必要な取り組みについて、パネリストをお迎えして議論したいと思います。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

16:20: 開会挨拶：伊澤雅子（大会会長） 司会：小林峻  
趣旨説明：小高信彦

### 講演1：「ホントウアカヒゲの不思議：渡り鳥から琉球列島の中で種分化」

関 伸一 森林総合研究所関西支所 主任研究員

### 講演2：「ノグチゲラのご不思議：オスの地つつきは、夫婦円満の秘訣」

小高信彦 森林総合研究所九州支所 主任研究員

17:15: 「総合討論」

### テーマ：「不思議な固有鳥類が暮らす森を未来に遺すには？」

キーワード：生物多様性、沖縄島、中琉球、固有種、自然植生、侵略的外来種、人のくらし

ファシリテーター：小高信彦

パネリスト：

環境省やんばる自然保護官事務所 自然保護官 椎野風香

沖縄県環境部自然保護課 生物多様性推進監 東盛舞子

琉球大学 熱帯生物圏研究センター 准教授 戸田 守

森林総合研究所 関西支所 主任研究員 関 伸一

琉球大学 理学部 助教 小林 峻

琉球大学名誉教授 / 北九州市立自然史・歴史博物館 館長 伊澤雅子

17:50閉会

お問い合わせ

沖縄生物学会事務局：okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

中琉球沖縄島の森に暮らす生きものたち 答え

上段左から

ノグチゲラ、ヤンバルクイナ、ホントウアカヒゲ、

ハブ、ヤンバルテナゴコガネ、オキナワトゲネズミ、ケナガネズミ、

ハナサキガエル、オキナワマルバネクワガタ、オキナワイシカワガエル、ハイ、

オキナワトカゲ、ヤンバルトカゲモドキ、リュウキュウヤマガメ、イボイモリ、バーバートカゲ

いくつか分かったかな？

沖縄島にはこれら以外にもたくさんの生きものが暮らしています。

いっしょに沖縄島の生物多様性の未来について考えましょう！